

— 職業奉仕委員会 —

## 口腔がん（職場訪問）検診

口腔の健康は食べる・喋る・笑うなど生活の質（QOL）の維持のため、大変重要な役割を担っています。ところが近年の生活習慣の変化等により口腔粘膜疾患が多様化しており、なかでも口腔がんは増え続けています。

口腔がんは人口 10 万人当たり 6 人程度と推測され、長崎県では年間 80 人弱が罹患していると思われます。そこで増え続ける一方の口腔がんに関心を持って頂くため、啓発活動の一環として事業所（職場訪問）検診を実施しました。

4 月 13 日(月)午後 2 時から 3 時まで、当クラブの歯科医師が問診、視診、触診を行い、必要であれば細胞診にて推定診断の上、結果が陰性であれば経過観察し、陽性または疑陽性であれば生検して確定診断を行うという方法で、舌、歯肉、頬、口腔底、口蓋、口唇等、検診希望者 10 名を対象に無料で検診を行いました。

その結果、治療を必要としない粘膜疾患が 2 名認められたものの、口腔がん及び前がん病変の疑われる所見は全員認められませんでした。

今回の検診は特別な検査機器など不要の上、一人当たり 5 分程度で口腔内の視診・触診検査ができますので、今後多くの事業所で実施されることを期待します。

尚、検診希望者には事前に問診票（病歴・家族歴など）を配布し、当日の検診の参考にしました。検診結果については後日チェックシートを活用した分かりやすい報告書を全員に発行した次第です。

